



21 December 2022

リリースノート

AtomOS 10.84.00

SHOGUN CONNECT

重要：

本アップデートで実装された AtomRemote アプリで SHOGUN CONNECT を操作するには、Apple iOS デバイスまたは、Mac が必要です。

Atom Remote のダウンロード (無料)

App Store で AtomRemote を検索するか、[こちらのリンク](#)からダウンロードするか、QR コードを読み取ってください。



インストール時の手順：

SHOGUN CONNECT を主電源に接続し、ファームウェアのアップデートを行うことを推奨しています。

1. フォーマットされた対応 SSD をドッキングステーションに挿し込んでください。
2. ダウンロードしたファイルを解凍し、ATOMSGC.FW を SSD のルートにコピーしてください。
3. SSD をドッキングステーションから抜いてください。(OS のガイドラインに従います)
4. SHOGUN CONNECT に SSD を挿し込んでください。
5. SHOGUN CONNECT の電源を入れると、自動的にファームウェアのアップデートが開始されます。
6. SHOGUN CONNECT の電源が既にオンになっている場合は、新しいファームウェアを含む SSD を挿入すると、ファームウェアの更新を実行するよう促されます
7. アップデートが完了すると、SHOGUN CONNECT の電源がオフになります。
8. SHOGUN CONNECT の電源を入れます。
9. ファームウェアのバージョンを確認します。(menu>info tab)

注意：SHOGUN CONNECT にファームウェア 10.84.00 が正常にインストールされると、ハードウェアモジュールを更新するために本体が再起動することがあります。ファームウェアのインストール中は電源を切らないでください。

新機能：

AtomRemote アプリが対応

録画・再生機能のリモート操作や、フォーカスピーキング、1:1 ズーム、フレームガイド、波形などのオンスクリーンツールの On/Off がリモートで可能です。

基本設定方法

- AtomRemote を起動し、コントロールしたいデバイスとして、Ninja/CONNECT を選択します。
- 対応する iOS/macOS デバイスの Bluetooth を有効にして、SHOGUN CONNECT とペアリングを行います。
- SHOGUN CONNECT で、上部情報バーをタップしメニューを表示させ、Sync Config メニューを選択します。
- その中の、Bluetooth セクションの Pair をタップし、SHOGUN CONNECT をペアリングモードにします。
- SHOGUN CONNECT と AtomRemote アプリのペアリング ID を比較し、コードが同じことを確認し、ペアリングを進めます。
- ペアリングに成功したら、SHOGUN CONNECT のメイン画面左にある丸く青い Remote アイコンを押します。
- これで、AtomRemote アプリから SHOGUN CONNECT の操作が可能になります。

注意：リモートモードがアクティブの時は、SHOGUN CONNECT のタッチスクリーンを操作することはできません。

AtomRemote アプリの詳細なチュートリアルは、[当社 YouTube チャンネルにあるセットアップガイド](#)をご覧ください。ビデオでは、AtomX SYNC モジュールでのセットアップを紹介しておりますが、SHOGUN CONNECT でも同様の手順で行うことができます。

H.265 オプションの機能追加

H.265 XQ は、ATOMOS デバイスでの HEVC 録画において、最高レベルの品質を提供します。

- UHD 50/60 で最大 300Mb/s まで
- 10bit または 8bit が選択可能
- 4:2:2 サブサンプリング対応
- All -intra 圧縮

H.265 XQ の詳細と、サポートされている全ての解像度 / フレームレートの組み合わせの仕様は、FAQ にある [H.265 ターゲットデータレートテーブル](#)をご覧ください。

バグ修正と改善点：

- H.265 コーデックで録画中にデバイスがフリーズしたり、応答しなくなる問題を解決しました。
- CtoC プロキシとライブストリームが脈打つイメージとして表現されるアーティファクトを表示してしまう原因となるエンコーディングの問題を解決しました。
- SSID にアポストロフィーや、その他の特殊文字が含まれる iOS WiFi スポットに SHOGUN CONNECT が接続できない問題を解決しました。

今後のリリースで修正予定の既知の制限事項：

- 録画 / 再生モードを切り替える際、Wi-Fi とイーサネットの再接続に最大 10 秒かかることがあります。システムが自動的にネットワークに再接続するのに時間が掛かりますので少々お待ちください。
- Wi-Fi の有効化が断続的に行われることがあります。システムの再起動を促すダイアログメッセージが表示されることがあります。
- X-H2 から ProRes RAW を記録すると、フレーム右端に 36px の太い黒い線が入ることがあります。
- 8Kp30 と 6Kp60 の RAW 入力時、WFM モニターツールが使用できません。
- SHOGUN CONNECT と Nikon Z 9 カメラ、ZOOM オーディオ レコーダー、TASCAM オーディオ レコーダーを AirGlu BT 経由でペアリングすることは、現時点ではサポートされていません。パートナーと協力して、実装できるよう開発中です。現状、iOS アプリの UltraSync Blue Slate、Mavis Pro Camera、MetaRecorder とのペアリングは可能です。
注意： SHOGUN CONNECT は Bluetooth 経由で一度に 1 台のデバイスとしかペアリングできません。
- 記録フォーマットに H.265 を選択した場合、ネットワーク記録制御は使用できません。
- ストリーミングは、標準的な YCC422 ビデオ入力を使用し、記録コーデックが ProRes または、DNx に設定されている場合のみ利用可能です。ProResRAW または H.265 を選択されている場合、ライブストリーミングはできません。
- YCC SDI 入力で ProResRAW 録画モードで起動した場合、モニタリング映像が正しく表示されないことがあります。ProResRAW モードで SHOGUN CONNECT に信号を出力しながらのモニタリングと録画時は、正しく動作します。
- HDMI Compatibility モードを選択した状態で、異なるカメラモデルを接続する場合は、新しいカメラを接続する前に必ず SHOGUN CONNECT を再起動してください。
- 再生モードにおいて、最初の ProResRAW ファイルを選択すると、アーティファクトが見えることがありますが、これは録画された物ではなく、最初に選択したクリップの後に再生されるクリップには見られません。